

まちづくりほっとライン

飯島照喜さん

〔株〕地域計画研究所 取締役主管研究員〕

ホームページURL : <http://www.irsp.co.jp/index.html>

プロフィール

1974年 関西大学卒業

1985年 地域計画研究所入社

入所時は主に文化施設、文化施策などを担当していましたが、地域福祉、子育て、ひとり親家庭、就労支援などの調査で、ヒアリングやワークショップを行ったことからまちづくりとの関わりを持ちました。いわば福祉の視点からのまちづくりへと入ったといえます。現在は東淀川区でのまちづくりに参画しています。



□得意なこと

大局を見失わずに、物事をポジティブに進め、人と人との「かかわり」や「つながり」を大事にするところです。ただポジティブは時と場合によっては「積極的」と捉えられる半面、「でしゃばり過ぎ」と誤解を生むこともあります。そこは注意するところです。

□これまでの活動実績

○「福祉でまちづくり」などまちづくりに向けての活動

・公衆浴場等の福祉的活用検討支援

・地域福祉計画支援づくりモデル事業支援

・大阪府地域福祉モニタリング事業

・大阪市地域福祉計画策定のワークショップ事業

○「まちづくり」事業

・茨木市沢良木地区「島地区ふれあいゾーン整備検討支援」

・東淀川区地域ゆめ・まち会議運営支援

□これまでの活動を振り返って

一人ひとりが生活背景や意識が異なることから、全体としてのハーモニーがなかなかとれず、「どうしようかな」と思い悩むことがよくあります。そんなとき、助言だけでなく「気楽に」と言葉を掛けてくれる仲間が入ることです。まちづくりで重要なことは、人と人の「つながり」をむすぶことですが、このことが最も難しいことだと思えます。それに悩んでいる時、仲間はそっと声をかけ、「つながり」の大切さを再認識させてくれます。そうした仲間を「まちづくり」をきっかけに増やしていきたいと考えています。

□ここが売り！！

遊ぶこと、おもしろいこと、そして人が好きであること。まちづくりでも楽しくないとおもしろくない、また杓子定規に進めてもなかなか進まない、遊びというゆとりを持つことが必要だと思えます。そのため、多くの人と出会い（まちづくりはきっかけでもあります）、遊びや楽しさをもっと吸収していきたいと考えています。



いろいろな意見が出てきました
(東淀川区下新庄地域でのワークショップ)



意見を付せん書き留めています
(東淀川区小松地域でのワークショップ)